



兵協連だより

HYOGO CONSUMERS' CO-OPERATIVE UNION

2026 2

1月17日「震災を風化させないー『忘れない』『伝える』『活かす』『備える』『繋ぐ』」をテーマとして「ひょうご安全の日のつどい」が実施されました。

その一環として、「1.17ひょうごメモリアルウォーク2026」が開催され、参加者は晴天のなか、みなとのもり公園からHAT 神戸なぎさ公園までの約4キロの復興した街並みを歩きました。

また、ゴール地点のなぎさ公園では防災体験学習、防災用品や備蓄物資の展示紹介などがありました。





特定非営利活動法人 消費者支援機構関西
理事長

藪田 高広

(やぶた・たかひろ)

KC'sの活動をご覧ください

消費者支援機構関西（略称KC's）は、消費者の被害の防止や救済をする非営利の消費者団体です。消費者団体訴訟制度に基づき、法的に2つの機能を持っています。

一つは「差止請求」です。事業者の不当な行為（表示や勧誘など）や不当な契約があるときに、「適格消費者団体」がそれを止めるよう求めることができます。二つめは「被害回復」です。事業者の不等な行為によって多数の消費者が被害を受けた場合に、「特定適格消費者団体」が当該の消費者に代わって被害回復を図ります。前者の「適格消費者団体」は全国に26あり、その中から4つの「特定適格消費者団体」が後者で、いずれも内閣総理大臣の認定を受けて実行する権限を有しています。

KC'sは、2005年に設立し20周年を迎えました。2007年に「適格消費者団体」、2017年に「特定適格消費者団体」の認定を受けています。関西地域7府県の消費者団体や生協、消費者問題に取り組む学識者、弁護士、司法書士、消費生活相談員、一般消費者などに支えられて活動をしています。会費による財務はもとより、日本生協連と近畿の主要生協から人的な支援を頂いています。兵庫県生協連の専務理事には歴代、理事として運営に参画して頂いています。

私は昨年6月に理事長に就任しました。これまでの職歴は、コープこうべに就職して宅配の担当から始め、常勤理事を経て日本生協連に移籍し、執行役員や常勤監事を務めました。生協一筋なので、訴訟や裁判の経験や知識は豊富ではありませんが、そもそも生協は、暮らしを守るために消費者が協同して活動・事業を行う組織であり、これまで生協で培ってきた考え方や判断基準は活かされています。今も消費者のために働けていることを大変幸せに思っています。

一昨年に全国の消費生活センター等に寄せられた相談は約90万件。健康食品や美容等に関する苦情が後を絶たない一方で、オンライン取引が増加し、ネット上での不当勧誘や高齢者の契約トラブルも増えています。消費者の被害を未然に防ぎ、また被害を回復するセーフティネットはますます重要になっています。

当団体のURLとHPにアクセスできる二次元コードを記載しました。県下の生協や生協組合員のみなさんに地道な活動を知って頂き、より一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



<https://www.kc-s.or.jp/>

CONTENTS

2. 想点

3. 新春トップセミナー・賀詞交換会

4. 協同組合のかけ橋

5. 兵庫県のページ／ヨッシーの窓

6. 初級経理学校 お知らせ／県連行事予定／編集後記

第21回
新春トップセミナー・賀詞交換会

1月10日、湊川神社 楠公会館において、「第21回 新春トップセミナー・賀詞交換会」を開催しました。兵庫県消費者行政の皆様や、共栄火災海上保険株式会社、会員生協・団体の役員と職員、あわせて43人の方々にご参加いただき、新年の決意を新たにする機会となりました。

新春トップセミナーでは岩山 利久会長理事の開会挨拶に続き、兵庫県県民生活部長 田中 序生様からご挨拶いただきました。講演会としまして、関西大学商学部商学科流通専修 教授 杉本 貴志氏から「協同組合のくらしや地域社会に対する役割 ～これからの協同組合に期待すること～」と題して講演いただきました。杉本先生からは、協同組合のはじまりから今後の在り方まで、終始丁寧に関わりやすくお話をいただき、時には笑いも織り交ぜながら、ご講演いただきました。

最後には地域への向き合い方として、生協単独ではなく、地域を巻き込んだ解決が求められるなど、協同組合として今後も視野を広げてもらいたいと述べられました。



講師 杉本 貴志氏



田中 序生 兵庫県県民生活部長



岩山 利久 会長理事

その後開催された賀詞交換会では、兵庫県行政の方々にもご参加いただきました。岩山利久会長理事の開会挨拶に続き、兵庫県県民生活部長 田中 序生様によるご挨拶と乾杯のご発声で和やかに会がスタート。日頃からご指導いただいている行政の方々とは友誼団体、会員生協・団体の皆さまがそれぞれに賀詞を交わし、交流を深めました。



田中 序生 兵庫県県民生活
部長による乾杯のご発声



会員生協の皆様のご紹介の様子

JF

JF 兵庫漁連 指導部

養殖マガキの^{へいし}斃死対策に関する 要望書を齋藤知事に提出

兵庫県の播磨灘海域で実施するマガキ養殖において、秋以降マガキの斃死が各地で確認されるようになり、約7～8割が斃死し、生育状況も悪く、出荷が遅れることに加え、生産量低下も見込まれる状況となりました。

11月27日（木）、兵庫県播磨灘カキ生産者協議会の川端浩司会長（JF 相生・代表理事組合長）、赤穂市漁業協同組合の大河優代表理事組合長、兵庫県漁業協同組合連合会の田沼政男代表理事会長、田中稔彦専務理事の4名は、兵庫県庁齋藤元彦知事を訪れ、マガキ養殖を継続し、消費者に良質のマガキを提供出来るよう「養殖マガキ斃死の原因究明と対策」「マガキ養殖継続のための低利な融資等の対応」を要望しました。

12月12日（金）には、養殖マガキの不漁に対するパッケージを含めた令和7年度12月補正予算が可決されました。



JA

JA グループ兵庫

「農産物直売所キャンペーン」を 実施中

JA グループ兵庫では、2/1（日）から2/28（土）までの期間、兵庫県内14JA が運営する農産物直売所50店舗で、神戸ビーフや兵庫県内JA の特産品など豪華景品が当たるキャンペーン「地域の農産物を食べて、兵庫の美味しいものを当てよう！」を実施中です！

農産物直売所（ファーマーズマーケット）とは、収穫したての野菜や果物を農家さん自身で持ち込み、新鮮で美味しい食材を皆さんに直接お届けする店舗のことで、レストランを併設する店舗や、地元産の農産物を使ったお惣菜やお漬物などの加工品が並ぶ店舗など、個性豊かな直売所が県内各地に存在します。

本キャンペーンは、消費者の方々に「地産地消」の意義や価値を知っていただくキッカケとなることを目的に、農家組合員と地域住民・消費者を結ぶ交流拠点であるJA 農産物直売所で実施するもので、地元産農産物の消費拡大によって地域農業の維持・発展を図ることも目的としています。

キャンペーンへの応募は非常に簡単♪直売所での購入レシート（税込5,000円分）を専用の応募用紙に貼り付けて店舗に設置された応募箱に投函するだけです。

ぜひ、この機会に兵庫の美味しいものの当選を目指して、最寄りのJA の直売所にお立ち寄りいただき、新鮮で安全・安心な地元産農産物を購入・ご賞味ください。

◆キャンペーン景品

特 賞：神戸ビーフ 3万円相当 3名様
JA 賞：県内JA の農産物・加工品 3千円相当 70名様

◆応募方法

- STEP ① キャンペーン期間中に合計5,000円（税込）以上
お買い物（複数回の合算もOK♪）
STEP ② お買い物レシートを応募用紙に貼付＆簡単なアンケートに回答
STEP ③ 直売所に設置された応募箱に投函して応募完了

キャンペーン参加店舗の目印はこちら↓！



キャンペーン参加店舗は
JA 兵庫中央会公式
Instagram (ja_hyogo)
の1/31の投稿を
チェック！





～シニアが狙われる～

こんな手口に気をつけて

兵庫県内の消費生活センターに寄せられた相談のうち、契約者が60歳以上の相談は全体の4割を超えており、年々シニア世代の相談割合が増えています。

この度、シニア世代が巻き込まれがちな消費者トラブルの手口と対処法をマンガで紹介したチラシを作成しましたので、その一部をご紹介します。



※ このチラシは、当センターのホームページで公開していますのでご利用ください。

「もう支払ったし…」、「何日も前の話だし…」とあきらめず、お近くの消費生活センター（消費者ホットライン188）にご相談ください。ご相談は、ご自身の被害回復に役立つだけでなく、注意情報への活用、事業者の指導・処分、法整備などを通じて、他の方への被害拡大防止にも役立ちます。



（兵庫県立消費生活総合センター
消費生活相談078・303・0999）

適格消費者団体 NPO 法人ひょうご消費者ネット

ヨッシーの窓

みなさま、こんにちは。適格消費者団体 NPO 法人ひょうご消費者ネットの吉江直記です。

寒い冬がきましたね。外を歩いていると、近所の顔見知りといひさつを交わします。この冬一番の冷えた日で、お互い「今日はまた寒いね」という言葉を交わしながら、そそくさと別れたのです。それがなんだか温かい気持ちになりました。これが夏だと「今日も暑いね」と言葉を交わしても冷えた心地がしないなあと考えたのでした。

さて、最近は男性の美容医療トラブルも増加傾向にあります。国民生活センターの相談事例には「医療脱毛の安価な広告を見てクリニックへ出向いたところ、当日に契約をすればさらに安くなると勧誘されて高額な契約をしてしまった」という事例が掲載されています。初診のカウンセリングで「全身脱毛 5 回15万円」より「2 年間で15回約100万円」の方が効果があると勧められ契約してしまい、あとから高額な契約だったので解約したいというものです。昨今、男性の美容意識の高まりは若い人に限ったことでもありません。男性の中には恥ずかしいから相談もしにくい人もいるかもしれません。恥ずかしい気持ちは私もわかる気がします。悩まれたら相談してみてほしいと思うのです。

ひょうご消費者ネット
連絡先

〒650-0011 神戸市中央区下山手通五丁目7番11号兵庫県母子会館2階C
TEL: 078-361-7201 E-mail: office@hyogo-c-net.com



2025年度兵庫県生協連「初級経理学校」ご案内

1. 日 時 2026年3月6日(金) 13:30~16:30
2. 実施方法 オンライン (Zoom)
3. 内 容 決算関係書類の見方を理解し、経営分析の手法について学びます。ケーススタディでは決算関係書類の事例や自生協・会社の数値をもとに実際に各種経営指標を算定し、経営状況を分析する演習を行います。

経営分析の基礎

- ①決算関係書類の見方
- ②経営分析の目的と考え方
- ③収益力の分析
- ④安全性の分析
- ⑤生産性の分析
- ⑥ケーススタディ



4. 対 象 会員生協・団体の役職員
5. 講 師 日本生活協同組合連合会 管理本部 経理部
6. 定 員 30人
7. 受講料 無料

申し込み・問い合わせ ☎ 兵庫県生活協同組合連合会 TEL **078-894-3207**

編集後記

この12月末に兵庫連に着任し、早1ヶ月が経ちました。1月10日には新春トップセミナー&賀詞交換会が開催され、会員生協、友誼団体の皆さまと交流をすることができました。

また新春トップセミナーでは、「協同組合のくらしや地域社会に対する役割」これからの協同組合に期待すること」と題して杉本先生の講義を受けました。協同組合としてどうあるべきか、地域社会と協同組合の関わり合いなど、時には笑いの織り交ぜながらわかりやすく講義いただきました。

私自身もこの機会に原点に立ち返り、今一度「協同組合」とは何かを考える機会を設け、叡智を深めていきたいと思えます。

(後内)

県連行事予定

- 2月2日 第5回理事会
- 2月4日 ピースアクション委員会
- 2月5日 兵庫JCC協同組合研究・交流会
- 2月12日 第3回共済生協部会
- 2月16日 ひょうごまるごと健康チャレンジ実行委員会
- 2月18日 兵庫JCC事務局会議
- 2月19日 兵庫JCC虹の仲間づくりカレッジ(実践発表会)
- 2月24~25日 ピースアクション2025
- 2月25日 長崎訪問
- 2月25日 近畿農政局との意見交換会
- 2月25日 KC's理事会